

図書館だより

Library Information

- 上野図書館 ☎ 21-6868
- いがまち公民館図書室 ☎ 45-9122
- 烏ヶ原公民館図書室 (烏ヶ原会館内) ☎ 59-2291
- 阿山公民館図書室 (あやま文化センター内) ☎ 43-0154
- 大山田公民館図書室 (大山田教育センター内) ☎ 47-1175
- 青山公民館図書室 ☎ 52-1110

★新着図書紹介 (上野図書館)

■ 一般書 『謎の1セント硬貨—真実は細部に宿る in USA』
向井 万起男 / 著

著者が宇宙飛行士である妻と一緒にアメリカで経験したことを通して、アメリカやアメリカ人について考えたことがユーモアを交えて書かれています。読後は、著者独特のユニークな視点で語られるアメリカが、とても魅力的に見えてくるのではないのでしょうか。

■ 一般書 『株価とニュースの関係が面白いほどわかる本』
石原 敬子 / 著

日々変動する株価が、その日のニュースにどのように影響されているのかをわかりやすく解説した本です。企業の業績はもちろん、政治情勢や自然災害、インフルエンザからオリンピックまでが、経済と結びついていることがよくわかります。

■ 児童書 『方言と地図—あったかい47都道府県の言葉』
井上 史雄 / 監修、冬野 いちこ / 絵

日本には北から南まで、それぞれの地域にさまざまな方言があります。たとえば、「じゃんけん」という言葉一つをとっても、「じゃいけん」「じつけん」「いんじゃん」「でっちゃんぽい」など、200種類以上の言い方があるそうです。47都道府県の方言を、楽しいイラストや地図とともに紹介しています。

■ 児童書 『ポポくんのミックスジュース』 accototo / 作
かばのポポの家に、おいしいちゃんからたくさんのオレンジが届きました。友だちにも分けてあげたら、みんながお礼にいろんな果物を持ってきてくれました。ポポは、その果物を使ってみんなでジュースを作ることを思いつくのですが…

廃棄用雑誌を譲ります 【期間】6月13日(土)～28日(日) ※休館日(月曜日)を除く。
【とこ】上野図書館 ※なくなり次第終了します。 【問い合わせ】上野図書館 ☎21-6868
※欲しい雑誌の予約や書名の案内はできませんので、直接、図書館へお越しください。



6月の読み聞かせ

開催日	会場	時間	催物	*は読み手
3日(水)	ふるさと会館いが小ホール	10:00～1時間程度	絵本の時間	
13日(土)	上野図書館2階視聴覚室	14:00～30分程度	おはなしの会	*小さい子ども向き
13日(土)	烏ヶ原公民館図書室	10:30～30分程度	絵本の時間「ネエよんで」	
16日(火)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30～30分程度	読み聞かせ会	*おはなしボランティア「はあと&はあと」
17日(水)	上野図書館2階視聴覚室	15:00～30分程度	えほんの森	*おはなしボランティア「よもよも」
21日(日)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30～30分程度	読み聞かせ会	*おはなしボランティア「はあと&はあと」
24日(水)	青山公民館図書室絵本のコーナー	10:30～30分程度	大きな絵本の読み聞かせ会	
27日(土)	上野図書館2階視聴覚室	14:00～30分程度	おはなしの会	*大きい子ども向き
27日(土)	大山田公民館図書室えほんのへや	10:30～20分程度	おはなしたいむ	*おはなしボランティア「きらきら」

★絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。

春は巣立ちの季節であり、また新しい出会いの季節でもあります。この春、高等学校や専門学校、大学などを卒業された方が社会人となり、新たな環境に身を置き、仕事を覚えようと一生懸命頑張っています。不況が続くなか、就職先を見つけるのに苦労した彼・彼女たち。何とか掴んだチャンスを生かそうとする姿は、私たちがもうかかしていられないとの意識が芽生えるほどです。毎年聞く話ですが、「この春の新人社員の頑張る姿に感動するよ」と企業に勤める人からも聞きました。以前、ある人と「内定取り消し・派遣切り」について話をした時のことです。その人は「この不況下、内定取り消しや派遣切りはやむを得ないこと」だと言われ、その後周りを巻き込んだ議論となりました。ある人は「内定を取り消すぐらいなら、最初から求人案内を出さなければいい」「派遣切りはヒドイと思う」と言い、またある人からは「不況なんだから仕方ない。企業としては当たり前」という意見も出ました。そんななか、「企業の論理を高校生に強要しても理解して

「それは誰のため…?」

もらえない。高校生に都合だけ説明して納得してもらえらるだろうか」という意見があり、その場で議論していた者同士が考えさせられました。職に就きたいけど見つからない…自分の個性・特性を活かした職に就きたいと願う若者は、来春も確実に、この厳しい社会に飛び出してきます。あるところでは、老舗的存在の飲食店に入社した男性が、配属された職場の衛生環境に疑問を持ち、上司に相談すると「ほかには話すなよ」と脅された話を聞きました。別の上司とも何度も話し合ったそうですが企業の都合を納得せよの一点張り。彼は「お客さまに申し訳ない」と非力な自らを責め、退職してしまいました。不況のなか、だからこそ頑張りや若者の存在。彼ら彼女らの頑張り：「それは誰のため」なのか。弱いものが真っ先に切り捨てられ、頑張りもやる気も認めてもらえない人たちを生み出す今の社会構造。一体誰のための社会なのか：不況のせいだけではないように思えます。

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

(大山田支所 人権同和課)

このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。ご意見などは本庁人権政策課 ☎ 22-9631 jinken@city.iga.lg.jpへ

▼クールビズに取り組んでいます。職員の軽装にご理解をお願いします。